

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



地域ぐるみで学校を応援します！

～学校支援地域本部事業が全市でスタート～

北秋田市学校支援地域本部第1回連絡協議会が、5月2日に中央公民館で開催され、学校代表、地域コーディネーター、県及び市の教育委員会関係者などあわせて60人が事業の確認や協議を行いました。

この事業は、学校が必要とする活動について、市民をボランティアとして派遣し、より効果的な教育活動の充実を図るとともに、市民一人一人の知識や経験を子どもたちの育成や地域へ還元していくことを大きなねらいとしています。

今年度からは、市内全ての小・中学校で取り組む

ことも決まり、「地域ぐるみの学校応援団」の活動が、より一層、活性化されていくことが期待されます。



▲中央公民館で開催された第1回連絡協議会

ふるさとに生きがいを求めて学ぶ

～平成26年度高齢者大学開講式～

森吉大学を皮切りに、阿仁生き生き大学、高鷹大学、合川ことぶき大学と、今年度の各地区高齢者大学が開講しました。

このうち、5月7日に森吉公民館で行われた森吉大学（櫻庭博志学長）の開講式では、83人が「ふるさとに生きがいを求めて学ぶ」をテーマに、学習の決意を新たにしました。

この日は、旧森吉町出身で前秋田県立小坂高等学校長の庄司博信氏を講師に迎え、『「浦田焼」—その経緯と千体仏を中心として—』と題した講演も行わ

れ、源昌寺に古くから伝わる浦田焼の千体仏について理解を深めました。



▲学習の決意を新たにした森吉大学開講式

ジャガイモ、大きくな～れ

～放課後子ども教室「いきいきタイム」～

米内沢いきいきタイムの児童27人が、5月15日にジャガイモ植えを体験しました。

毎年この時期に行うジャガイモ植えは、子ども達も楽しみにしている企画のひとつ。この日は、バスで桂瀬の「森のテラス」へ移動し、地域の方が耕してくれた畑に種いもを植え、植え終えた児童は、早くも収穫の話題で盛り上がっていました。

放課後子ども教室「いきいきタイム」は、市内全児童を対象として、地域ボランティアの指導のもと、体験活動を中心に、平日の放課後に週1回ほど開催

しています。クッキングや工作、野外活動などを通して地域の人と楽しく交流活動を続けています。



▲ジャガイモ植えを楽しむ児童たち

走れ内陸線☆コトバ列車!!

●文化係 ☎62・6618

現代詩フェスティバルプレ詩作の旅

鷹巣からお座敷列車で角館に向かい、武家屋敷を散策しながら、見たこと感じたことを詩にしてみませんか。
日時 6月8日(日) 鷹巣駅8時集合
対象 どなたでも
定員 40人(先着順)

参加費 昼食代1080円
持ち物 筆記用具、雨具
※事前に申し込みが必要です。

浜辺の歌音楽館第88回定期演奏会

●文化係 ☎62・6618

「天野英彦はまへのプロムナード」
日時 6月28日(土) 14時～16時
会場 浜辺の歌音楽館
料金 【高校生以下】500円(未就学児は無料)／【大人】1000円
前売所 浜辺の歌音楽館、生涯学習課

前田公民館定期講座

●前田公民館 ☎84・8770

筆ペン教室

く暮らしに役立つ筆ペンを学ぼう！
日時 6月から10月 第4金曜日
午前10時～12時
場所 前田公民館
定員 12人
持ち物 筆ペン
講師 河井千代子先生

レクリエーション

●生涯学習係 ☎62・1130

インストラクター養成講座

レクリエーション・インストラクター資格の取得が可能な講座です。
期日 6月29日、7月6日、8月3日・31日、9月7日・28日、10月19日、11月9日・23日・30日※いずれも日曜日
会場 中央公民館など
定員 30人(最小実施人数10人)
受講料 6000円
(テキスト代、受験料、保険料)
申込締切 6月13日(金)
※詳しくはお問い合わせください。

市内を花いっぱい！

●生涯学習係 ☎62・1130

今年も花の苗の販売を行います。個人や団体、地域の皆さんで市内を花いっぱいにしていきましょう。
販売場所 さかえフラワーセンター
種類と価格 マリーゴールド(黄・オレンジ) 30円/サルビア(赤) 40円/アゲラタム40円
事前申込 6月9日(月)～15日(日)
販売日時 【事前申込をした方】6月21日(土)、22日(日)の午前5時30分から午前9時／【申込みをせずに購入する方】6月22日の午前9時～正午
※苗を入れる箱は各自用意ください
●さかえフラワーセンター
☎62・1386(成田和子)

ふるさとの文化財

75

北秋田市指定無形民俗文化財 (民俗芸能)

○「餅搗き踊り」

◇所在地 米内沢字林ノ腰
◇管理者 熊野神社餅搗き踊り保存会

〈内容〉

熊野神社祭礼の宵宮祭に当たって奉納される踊りで、「めらし踊り」とも言われています。

〈起源〉

踊りの起こりは明らかではありませんが、昔からの言い伝えによると、盆の仏の供養として踊ってきたものとされ、盆の15日になると、米内沢の町の中心である新町通りに大きな白を出し、各家々の仏前に供えられた赤飯を集めて回り、それを餅種にして円陣を組み、餅を搗きながら踊ったものと言われています。搗いた餅は皆に振る舞われ、この餅を食べると虫歯が痛まないとか、夏負けをしなないといい伝えがあります。

もともと嫁入り前のめらし(娘)達が踊っていたものが、いつの時代からか既婚者並びに男性が女装して踊るようになったと言われています。現在は、無病息災、五穀

豊穰、安産などの祈願のため踊り継がれ現在に至っています。
〈構成〉
餅搗きの様子を取り入れた踊りで、それに続けてめらし踊り、猫童(ねこじゃ)、通り音頭、最後はケンバヤシで終わります。さらに、ジョンカラ、秋田音頭、台ノ坂などの盆踊りと同じような踊りも行われます。

8月28日熊野神社境内で行われます。(例祭前奉納)

◇秋田県民俗芸能大会に3回、北秋田市民俗芸能大会に2回出演するなど、市内でも貴重な民俗芸能です。



▶餅搗き踊り

▽昭和59年3月21日指定文化財資料/北秋田市教育委員会作成資料、「日本史辞典(角川新版)」、「広辞苑」、「秋田民俗芸能アーカイブス(国際教養大学調査作成)」保存会聞き取り
▽紹介者 北秋田市文化財保護審議委員 照内捷二